

札幌市総合防災訓練

今年は厚別区で、地震による大規模災害の発生を想定した札幌市総合防災訓練を実施します。

- 日時** 9月1日(月)午前9時30分～11時30分
- 会場** ふれあい広場あつべつ・科学館公園（厚別中央1条5丁目）など副都心地区、厚別西公園（厚別西3条3丁目）付近、市営住宅青葉町団地A号棟（青葉町1丁目）
- 内容** 住民、事業所、ボランティア、自衛隊、警察、消防などの防災関係機関が連携して、避難誘導、消火、救出救護、ライフライン復旧訓練などを行います

ふれあい広場あつべつ・科学館公園では…

大型スクリーン～区内各所で行われる訓練の様子を映します
市民体験コーナー～応急処置や煙の中の避難を体験します
防災車両の展示～災害時に活動する特殊な車両を展示します

ぜひ、ご参加ください

防災訓練会場周辺図



◎お願い

防災訓練実施中は、地下鉄新さっぽろ駅1番出口は使用できません。また、会場周辺道路の一部交通規制やヘリコプターの飛行音、発煙などご迷惑をお掛けします。ご理解とご協力をお願いします。

地域の安全は自分たちの手で

現在、区内の六十六町内会が自主防災組織を結成しています。結成率は、90・4%と市内で一番高く、区民の防災意識が高いことがうかがえます。平成十四年度には、日ごろの活発な防災活動に対して、青葉町A団地みどり自治会と厚別西厚信会が札幌市防災表彰を受けました。

厚別西厚信会自主防災会は、本部（指揮班）と七つの区防災会（活動班）で構成。各区が順番に、防災資機材の取り扱い方などの訓練や講習会を行っています。「参加して良かったという声をよく聞きます。特に、人工呼吸や応急手当など、救命救護訓練への関心が高いです。いざというときに、的確で素早い対応をするためには、訓練で正しい知識を身に付けることが大切ですね」と、総務部長の四方行



倒すゲームで消火器の使い方を身に付けます

男おさんが話してくれました。七月十二日には、厚別西公園で、厚別西連合町内会が「防火のつどい」を開催しました。参加者は、ゲームやクイズで楽しみながら防災知識を学んでいました。

いざというとき、慌てないために

家族みんなで話し合おう

- 日常の火災予防について点検を行いましょう。小さな地震でも、火を消す習慣を身に付けましょう。
- 家族一人ひとりの役割分担を決めておきましょう。
- 家族との連絡方法や集合場所を決めておきましょう。
- 家族みんなで、避難場所を決めておきましょう。避難場所をあらかじめ確認しておきましょう。
- 非常持ち出し品を準備しておきましょう。非常持ち出し品が重過ぎないか確認しておきましょう。

非常持ち出し品リスト

- ・食料品（乾パン、缶詰、インスタント食品など）、水（1人1日3リットル）を最低3日分
- ・衣類（下着、タオル、軍手など）
- ・安全具（ヘルメットなどの保安帽）
- ・救急セット（傷薬、胃腸薬、脱脂綿、包帯、ばんそうこうなど）
- ・貴重品（現金、預金通帳、キャッシュカード、印鑑、健康保険証など）
- ・その他（トランジスタラジオ、懐中電灯、マッチ、手袋、ひも、ナイフ、缶切り、ビニール袋など）